

上顎洞底挙上術の原理原則から、トラブル回避術・解決策が満載！

サイナスリフト 実践ルールブック

トラブルを回避・解決するために

著者

小林 文夫

Fumio Kobayashi



定価：10,500円（本体：10,000円＋税）

発行 / ゼニス出版 A4変形・176ページ

2013年6月発行

Sinus lift に対する考え方やテクニック、そして使用する材料・器具・機器などは短期間での変化を繰り返している観があります。しかし、その基本的な原則は普遍的なものであることを忘れてはいけません。より簡便で安全といわれる手技・手法が次から次へと報告されている昨今ですが、術者のスキルが成否の大半を占める外科手技においては、100%安全で確実という手技・手法は存在しません。

より安全で確実といわれるテクニックを身につけ、操作性の高い器具や機器を駆使して、手術のリスクをできるだけ抑えることは決して間違いではありません。むしろ推奨できることでしょう。ただし、100%安全・確実でないかぎり、不測の事態に遭遇した場合の対処法を身につけておくことも術者の義務といえます。そして、その対処法とは基礎的な知識と原理原則に基づいた手技によって成り立っていると信じています。

本書は、診査診断・施術というオフENSE的な手技とともに、対処法というディフェンス的なテクニックも網羅した一冊です。

CONTENTS

治療チャート

Lateral approach のサイナスリフトに際して留意すべき全身疾患・局所疾患 / 上顎骨・上顎洞の解剖学的診査 / 口腔内診査 / 隣接残存歯のチェック

Prologue Sinus floor elevation における主なトラブル

Stage 1 Lateral approach sinus lift の選択基準と必要な解剖学的知識

Crestal approach sinus lift テクニックの必要十分条件
Crestal approach sinus lift の選択基準
Lateral approach sinus lift に必要な解剖
骨開窓操作
骨開窓において準備するもの
臨床写真を用いた基本的術式の流れ

Stage 2 洞粘膜の裂開と骨補填材の漏出

洞粘膜裂開の修復
参考症例 A~W

Stage 3 全身疾患や局所疾患に起因したトラブルと解決法

Sinus floor elevation の選択基準
感染に対する留意事項
全身疾患を有する患者への適応基準
局所疾患を有する患者への適応基準
参考症例 A~F

Stage 4 Sinus floor elevation を行う近遠心の残存歯を考える

残存歯のチェック
上顎洞内へのドレナージの方法
参考症例 A~E

Stage 5 解剖学的特徴を理解した対処法と患者教育・患者管理

上顎骨・上顎洞の解剖学的問題点
患者教育
参考症例 A~J

Stage 6 上顎洞内へのインプラントフィクスチャーの迷入

上顎洞内へのインプラントフィクスチャー迷入の原因
一般的骨開窓部位
インプラント体除去時の注意点
インプラント体が迷入した際に準備するもの
インプラント体摘出にあたっての手順
参考症例 A~E

Final stage 例題症例

ご注文は



〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-10

Tel.03-3816-7818 Fax.03-3818-0837

<http://www.shien.co.jp>